中学2年 1学期期末テスト予想問題

1 解答 (1) 2 (2) 3 (3) 2 (4) 3

(1) 単項式である。

 $6ab = 6 \times a \times b$ より、6ab の次数は 2

(2) 単項式である。

 $-2x^2y = -2 \times x \times x \times y$ より, $-2x^2y$ の次数は 3

(3) 多項式である。

2a の次数は 1. b^2 の次数は 2 であるから、 $2a+b^2$ の次数は 2

(4) 多項式である。

 x^2y の次数は 3, -y の次数は 1 であるから, x^2y-y の次数は 3

- ② 解答 (1) 6x+y (2) $6x^2+x-3$ (3) $2a^2+7a-8$ (4) 6m-9n+3 (5) 8a-2b (6) -6x-3y (7) $\frac{6a-11b}{12}$ (8) $-20x^3$ (9) -9a (10) -6a
 - (1) 3x-y+3x+2y = 3x+3x-y+2y= (3+3)x+(-1+2)y= 6x+y
 - (2) $(5x^2-x)+(x^2+2x-3)=5x^2-x+x^2+2x-3$ = $5x^2+x^2-x+2x-3$ = $6x^2+x-3$
 - (3) $(3a^2 + 7a 9) (a^2 1) = 3a^2 + 7a 9 a^2 + 1$ = $3a^2 - a^2 + 7a - 9 + 1$ = $2a^2 + 7a - 8$
 - (4) $(4m 6n + 2) \div \frac{2}{3} = (4m 6n + 2) \times \frac{3}{2}$ = $4m \times \frac{3}{2} - 6n \times \frac{3}{2} + 2 \times \frac{3}{2}$ = 6m - 9n + 3
 - (5) 4(a-2b)+2(2a+3b)=4a-8b+4a+6b= 4a+4a-8b+6b= 8a-2b
 - (6) 6(x-2y)-3(4x-3y) = 6x-12y-12x+9y= 6x-12x-12y+9y= -6x-3y

(7)
$$\frac{3a-2b}{3} - \frac{2a+b}{4} = \frac{4(3a-2b)}{12} - \frac{3(2a+b)}{12}$$
$$= \frac{4(3a-2b)-3(2a+b)}{12}$$
$$= \frac{12a-8b-6a-3b}{12}$$

(8)
$$-5x \times (-2x)^2 = -5x \times (-2x) \times (-2x)$$
$$= -5 \times (-2) \times (-2) \times x \times x \times x$$
$$= -20x^3$$

(9)
$$6a^{2}b \div \left(-\frac{2}{3}ab\right) = 6a^{2}b \div \left(-\frac{2ab}{3}\right)$$
$$= 6a^{2}b \times \left(-\frac{3}{2ab}\right)$$
$$= -\frac{6a^{2}b \times 3}{2ab}$$
$$= -9a$$

(10)
$$9ab \times 4b \div (-6b^2) = -\frac{9ab \times 4b}{6b^2}$$

= $-6a$

③ 解答 (1)
$$-6$$
 (2) 4
(1) $2(a-3b)+(a+6b)=2a-6b+a+6b$
 $=3a$
 $a=-2$ を $3a$ に代入すると

$$(2) \quad 6a^{2}b \div (-3ab) = -\frac{6a^{2}b}{3ab}$$
$$= -2a$$

 $3 \times (-2) = -6$

$$a=-2$$
 を $-2a$ に代入すると $-2 \times (-2) = 4$

4 解答 (1)
$$x = 4y - 3$$
 (2) $a = \frac{2S}{h} - b$

$$x-4y=-3$$
$$-4y を移項すると x=4y-3$$

(2)
$$S = \frac{(a+b)h}{2}$$
$$\frac{(a+b)h}{2} = S$$
$$a+b = \frac{2S}{h}$$
$$a = \frac{2S}{h} - b$$

5 解答 略

もとの自然数の十の位の数をa, 一の位の数をbとすると

10a + b

入れかえた自然数は 10b+a

と表される。このとき、これらの差は

$$(10a+b)-(10b+a) = 10a+b-10b-a$$

= $9a-9b$
= $9(a-b)$

a-b は整数だから、9(a-b) は 9 の倍数である。

よって、もとの自然数と入れかえた自然数の差は9の倍数になる。

6 解答 略

連続する3つの奇数のうち、もっとも小さい数を2n+1とすると、

3つの奇数は

$$2n+1$$
, $2n+3$, $2n+5$

と表される。

このとき、3つの奇数の和は

$$(2n+1)+(2n+3)+(2n+5)$$

$$=2n+1+2n+3+2n+5$$

=6n + 9

=3(2n+3)

2n+3 は整数だから、3(2n+3) は3の倍数である。

よって、連続する3つの奇数の和は3の倍数になる。

7 解答 9ab cm²

長方形 ABCD の面積は $4a \times 6b = 24ab$

 \triangle APQ は,長方形 ABCD から \triangle ABP, \triangle PCQ,

△QDA を除いたものである。

 \triangle ABPの面積は $\frac{1}{2} \times 4a \times 3b = 6ab$

 \triangle PCQ の面積は $\frac{1}{2} \times 2a \times 3b = 3ab$

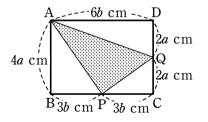
 $\triangle QDA$ の面積は $\frac{1}{2} \times 2a \times 6b = 6ab$

よって、△APQ の面積は

$$24ab - (6ab + 3ab + 6ab) = 9ab \text{ (cm}^2)$$

8 解答 (1) 0.3 (2) 6人

(1) 得点が8点以上の人数は 7+5=12(人) よって, 求める相対度数は



$$\frac{12}{40} = 0.3$$

(2) 2+3+5=10より、全問正解した人は、得点が10点であるから

2+5=7より,第1問と第3問に正解した人は,得点が7点であるから

3+5=8より, 第2問と第3問に正解した人は, 得点が8点であるから7人

よって,第3問だけ正解であった人数は

$$26-(5+8+7)=6$$
 (人)

9 解答 (1) 30人 (2) 60点 (3) 55点

- (1) 3+4+8+7+6+2=30
- 图 30人
- (2) (階級値)×(度数)の合計は

 $35 \times 3 + 45 \times 4 + 55 \times 8 + 65 \times 7 + 75 \times 6 + 85 \times 2 = 1800$

よって、平均値は
$$\frac{1800}{30} = 6$$

图 60点

(3) 度数のもっとも大きい階級の階級値は55点であるから、最頻値は 55点

(5)

 $5x + 4y = 21 \quad \cdots \quad \textcircled{2}$

①×4
$$16x + 12y = 64$$
 ②×3 $\frac{-)}{15x + 12y = 63}$ $x = 1$ $x = 1$ を① に代入すると $4 \times 1 + 3y = 16$ $y = 4$ よって $x = 1$, $y = 4$ $\begin{cases} 4x - 3y = 19 & \cdots & \cdots & 0 \\ x = 2y + 1 & \cdots & \cdots & 2 \end{cases}$ ② を① に代入すると $4(2y + 1) - 3y = 19$ $y = 3$ $y = 3$ を② に代入すると $x = 2 \times 3 + 1$ $x = 7$

-3-